

令和7年度 第2回 神奈川県立鎌倉高等学校 学校運営協議会 議事録

1. 日時

令和7年12月18日（木） 15時30分～16時50分

2. 場所

神奈川県立鎌倉高等学校 大会議室

3. 出席者

- 委員：田邊克彦（会長）、牛見誠人、菅野喜八、高木亮、佐藤弘一、岡田雅彦
 - 欠席：加藤俊志、齋藤貴
- 事務局（学校側）：佐藤文美・林孝弘・石塚隆夫、伊藤剛、佐藤靖彦
 - 石川比呂子・良田直優・永山悦子・柴田克也

4. 議事

1 校長あいさつ

- 学校運営協議会は年3回のうちの2回目となる。ここまで進捗に対し忌憚のない意見をいただきたい。
- 現在、正門工事を進めており周辺にご迷惑をおかけしている。
- 国の補正予算に基づく県の基金設立等の動きがあり、高校教育改革が進められている。

2 学校運営協議会の開催にあたって

(1) 学校運営協議会の組織について（副校长より説明）

- ア 学校評価部会
 - 7月16日の第1回協議会にて8名の委員を選定済み。今回は学校評価部会を兼ねて実施する。
- イ キャリア部会
 - 本協議会終了後、引き続きキャリア部会を実施予定。部会長は加藤委員（本日欠席のため別途依頼済）、副部会長は部会長指名により決定する。

3 協議

(1) 令和7年度学校評価目標（中間報告）について

視点1 教育課程・学習指導について（SSH・授業改善）

- 報告（教務・学習企画）
 - SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定初年度として、79期生（1年時）からカリキュラムを再編した。2年時まで文理を分けない形をとっている。
 - 授業評価アンケート（項目⑥：授業の満足度）において、最高評価「4」と回答した生徒の割合が50%を超えたのは情報・理数の2教科であった。全体として評価3～4の割合は昨年度比で増加しており、授業改善の成果が見ら

れる。

- 2年時課題研究（K-ARP）では、慶應義塾大学SFCの学生メンター3名の支援を受けている。また、生物学系の一部の班はJAMSTECへのサイエンスツアーワークショップを実施した。
 - 1年時SSHトピックとして広町緑地でのフィールド調査（ドングリ調査、水質調査等）を実施した。データ収集・分析のスキルトレーニングを行った。
- 質疑応答・意見
 - Q. SSH指定後の教育成果や生徒の受け止めはどうか。
 - A. SSHに関わる教職員や1年担任が指導に入ることで、想像以上に取組が活発化している。生徒募集（学校説明会）でもSSHポスター発表に関心を示した来場者が多く、探究に关心の高い中学生へのアピールになっている。
 - 菅野委員：与えられる勉強だけでなく、自身の探究を深めることは重要。継続してほしい。
 - 佐藤総括教諭：生徒はSSH発表会（神戸）に参加し、全国レベルとの差を痛感する良い機会となった。
 - 高木委員：文科省予算で賄えない教育環境整備等があれば、同窓会として協力があるので申し出てほしい。
 - 田邊会長：広町緑地との連携について詳細を知りたい。
 - 佐藤総括教諭：都市公園として環境保全されている場所である。データ収集の基礎訓練の場として活用しており、将来的には環境保全活動へ関わる生徒が出てくることも期待している。

視点2 生徒指導・支援について

- 報告（生徒会・生活指導）
 - 三大行事は滞りなく実施され、生徒アンケートも好評であった。次年度に向けた組織づくりも進んでいる。
 - 課題：夏の猛暑対応に苦慮している。今年度はスポーツ大会を7月から6月中旬へ前倒し、7月に実施した文化祭で体調不良者が出ていた。次年度以降の日程調整が課題である。
 - 「かながわ子どもサポートドック（生徒支援システム）」を担任が活用し、気になる生徒へのプッシュ型面談が可能になった。一方で教育相談以外の業務も多く、マンパワーの不足が課題である。

視点3 進路指導・支援について

- 報告（キャリア支援）
 - 「学習キャリアワークブック」を作成・配付し、社会人になってからの視点を持たせている。
 - 2年生は第一志望宣言を完了した。

- 共通テストの変更点（情報Ⅰの追加等）について情報提供を行い、冬季休業中に共通テスト体験会を実施する予定である。

視点4 地域等との協働について

- 報告（生徒会・管理）
 - 生徒会： 弦楽部、合唱部、吹奏楽部が地域でのコンサート等に参加した。
 - 管理： 藤沢支援学校分教室との対面式や防災訓練での協働を実施した。
- 意見
 - 菅野委員： 七里ガ浜自治会の豊穣祭（10月）に弦楽部が参加し、美術部員がTシャツデザインで協力してくれた。地元自治会として感謝している。
 - 事務局： PTA連携において、教職員の校務用アドレス以外への連絡や、PTA委員間での情報共有に課題が見られたため、連絡体制を整理したい。

視点5 学校管理・学校運営について

- 報告（教頭・事務・管理）
 - 業務効率化： デジタル採点システムを導入し、採点・返却業務の負担を軽減した。一方で、答案（紙）の保管ルール等の新たな課題については整備中である。
 - 防災教育： FigJam（フィグジャム）を用いた防災研修を実施した。
 - 施設設備： 正門の塩害対策工事、アスファルト舗装を実施した。来年度以降はLED化工事を予定している。
- 質疑応答・意見
 - 菅野委員： 津波発生時、七里ガ浜二丁目自治会では、鎌倉高校へ避難することになっている。高校側として住民避難をどう受け入れるか、夜間対応などの明確化が必要である。
 - 校長： 基本は市役所の対応となるが、学校としてどこまで対応可能か、避難所運営マニュアル等の確認と周知が必要である。

（2）神奈川県立鎌倉高等学校の教育活動等について

- 報告
 - 美術部が七里ガ浜二丁目自治会のロゴおよびTシャツを製作した。
 - 修学旅行について、費用の高騰および県の費用上限規定の関係で、例年の沖縄方面から山陽・関西方面へ変更して実施した。
 - 部活動では、吹奏楽部（東関東大会）、ソフトボール部（関東公立大会）、科学の甲子園初参加等の実績を挙げた。

（3）その他

神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則に基づき県教育委員会に対し、働き方改革（特別休暇の取得緩和）および予算要望についての申し出を行うことを提案したい。（委員より賛同を得たため申し出ることとする）

(4) 今後の日程等について

- 第3回学校運営協議会は3月に実施を予定している。
- 本会終了後、第1回キャリア部会を開催する。

以上